

# みどり森のいきもの掲示板

## けいじばん ～ほにゅう類編～

みどり森で野生の「ほにゅう類」に出会ったことがありますか？  
野生動物の多くは、主に夜に活動をするため、なかなか出会うのはむずかしいんです。  
じつはみどり森にも、さまざまな「ほにゅう類」が生息しています。  
今回は解説員が、見たり、聞いたりした情報をまとめてみました。

### ◎よく見かける動物

結構、目げきされているのがこの2種類です。見られる時期や時間帯、場所を押さえておけば、出会えるかもしれません。



前腕長：30～37mm  
頭胴長：41～60mm  
尾長：29～45mm

#### アブラコウモリ

みどり森で一番見つけやすいのがコウモリです。あたたかい時期の夕方に空を見上げると飛んでいます。  
ただ飛んでいるだけではなく、飛びながらエサとなる虫をつかまえています。ただし、寒くなると冬眠してしまうので会えなくなります。



頭胴長：50～60cm  
尾長：15cm

#### タヌキ (ホンダタヌキ)

タヌキもほにゅう類の中では、よく出会える野生動物です。日没時間が早い冬は、スタッフが帰るときに湿生園の近くで良く見かけます。3月のアカガエルの産卵期になると、水鳥の池に集まってきたカエルを食べる様子を風間でも見ることができます。

### ◎どこかにいるはずなんだけど…その1。

なかなか出会えないけど、みどり森に生息しているほにゅう類をしょうかいします。散さく中に見かけられたらとってもラッキーです♪

#### ノウサギ (キュウシュウノウサギ)

利用者の方からの目げき情報が意外に多いのが、ノウサギです。狭山湖外周道路の周りや西久保湿地や大谷戸湿地で見かける方が多いようです。このあたりのノウサギは、冬になっても体毛が白くならず、年間を通して茶色をしています。

また、草原に直径1.5cm、厚さ1cm位の「ファン」が落ちていることもありますよ。

頭胴長：43～54cm  
尾長：2～5cm



頭胴長：50～80mm  
尾長：61～83mm

こんな巣です。

#### カヤネズミ

日本に生息するネズミのなかまで一番小さいネズミです。姿はまず見ることができません。スタッフが冬に管理作業で草かりをする時水辺近くの草原などで、球状の古巣を見かけることがあります。

### ◎どこかにいるはずなんだけど…その2。

#### アカネズミ

道わきのしゃ面に直径3cm位のあながあいているのを見かけることがあります。これはアカネズミがほったトンネルの出入り口です。



頭胴長：80～140mm  
尾長：70～130mm

去年は案内所うらで死んでいるアカネズミを見かけました。いったい何があったのでしょうか？

#### イタチ (ホンダイタチ)

水辺を好むほにゅう類のため、水鳥の池の周りで年に数回、目げきします。水鳥の池のはじを歩いていることが多いので、そっ



頭胴長：雄27～37cm  
雌16～25cm  
尾長：雄12～16cm  
雌7～9cm

#### アズマモグラ

本当の姿を見ることは少ないですが、モグラがトンネルを掘った時に出土を地表に運んだ(モグラ塚)をよく見かけます。



頭胴長：121～159mm  
尾長：14～22mm

なかなか姿を見かけないため、大きなほにゅう類だと思っている方が多いのですが、体長が16cm程度のほにゅう類です。なぜかモグラの死体が案内所入口デッキにあったことも……。

### 最近の話題 ～キツネ(ホンダキツネ)～

このあたりにはもういないといわれてきたけど、最近、所沢の方で写真にとられたり、みどり森でも今年、来館者の方が早朝、目げきしたとの情報もありました。



頭胴長：60～70cm  
尾長：40cm

### おたずね者 《外国から来たほにゅう類》

昔は、この辺りにはいなかったけど、最近、目げきされるようになりました。彼らはいつ、どこから来たのでしょうか？

#### WANTED

#### アライグマ

ここ数年、狭山丘陵に生息域を広げてきており、他の生物への影響が心配されています。



タヌキと見まちがえられることがありますが、見分けるポイントはしっぽのシマシマもようです。

#### WANTED

#### キタリス

アライグマと同じで人間が放してしまったことにより、目げき情報が増えているようです。埼玉県側よりも東京都側での目げき情報が多いです。



#### ～観察のマナー～

野生動物は自然の中でくらししています。カワイイからといって、エサをあげたりしないでください。エサをあげることで、本来の生活ができなくなったり、病気になってしまいます。もちろん、つかまえたりしてはいけません！

#### 皆さんの情報をお寄せください！！

みどりの森博物館では、ほにゅう類の目げき情報を募集中です！

- ①動物の種類 ②いつ？ ③どこで？  
④何をしていた？ ★目げきした方は案内所までご一報ください

◆県民の日イベント「森のかくれ家を作ろう！」

雑木林の管理作業で出た枝や竹を使って、かくれ家づくりに挑戦！どんなかくれ家ができるかな？  
 日時：11月14日(水) 10:00~12:30  
 対象：小学生以上(小学生は保護者同伴) 定員：20名  
 参加費：100円(保険代)  
 要申込：10月14日から受付を開始します。

◆大人の自然観察会~初級者編・秋~

さまざまな動植物が見られるみどり森をフィールドに、晩秋の自然を観察します。初心者向けです。  
 日時：11月17日(土) 9:30~12:00  
 対象：中学生以上 定員：20名  
 参加費：100円(保険代)  
 要申込：10月17日から受付を開始します。

◆親子はじめての自然観察

みどり森を親子で楽しく観察します。秋の雑木林ではどんな自然や生きものに出会えるでしょうか。  
 日時：11月25日(日) 9:30~12:00  
 対象：小学生と保護者 定員：20名  
 参加費：100円(保険代)  
 要申込：10月25日から受付を開始します。

◆緑の森フェスタ

博物館周辺の自然をテーマにした作品の展示やクラフト体験、森のクイズラリーなどを開催します。金土日には地元の方々による演奏会や野菜販売なども予定しています。  
 日時：11月23日(金祝)~29日(木) 10:00~17:00 ※26日(月)は休館  
 対象：一般 参加費：無料(一部、有料イベントあり)

◆幼児とパパママで楽しむ自然あそび

幼児のお子さんと一緒に、のんびりと自然を楽しめるプログラムです。  
 日時：12月15日(土) 10:00~12:00  
 対象：4~6歳の幼児と保護者 定員：20名  
 参加費：100円(保険代)  
 要申込：11月15日から受付を開始します。

◆里山体験教室(全4回)

昔から行われてきた、里山の管理作業を体験。下草刈り、落ち葉はき、伐採、炭焼きなどを予定しています。  
 日時：12月16日、1月20日、2月17日、3月17日(いずれも日曜日) 10:00~15:00  
 対象：小学生以上(小学生は保護者同伴) 定員：20名  
 参加費：2000円(保険代・材料費)  
 要申込：11月16日から受付を開始します。

◆集まれ!ジュニアレンジャー「冬の森であそぼう！」

学年の違う仲間たちと一緒に、みどり森で思いっきり遊びます。どんな楽しい発見が待っているかな。  
 日時：12月22日(土) 10:00~15:00  
 対象：小学生以上(保護者による送迎) 定員：20名  
 参加費：300円(保険代、材料費)  
 要申込：11月22日から受付を開始します。

◆里山文化講座「お正月準備・しめ縄を作ろう」

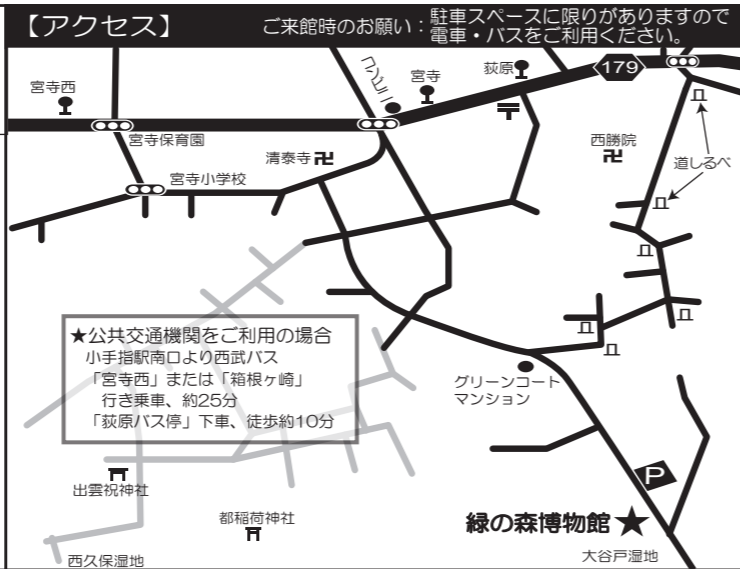
里山に古くから伝わる文化・習俗を体験する講座。12月はお正月にまつわる話や、しめ縄かざりを作る予定です。  
 日時：12月24日(月) 10:00~12:30  
 対象：小学生以上(小学生は保護者同伴) 定員：20名  
 参加費：500円(保険代・材料費)  
 要申込：11月24日から受付を開始します。

博物館からのお知らせ

12月くらいまでは、スズメバチに出会うことがあります、ふりはらったりせずに散策してください。もし、蜂の巣等を見つけたら、案内所までお知らせください。

◆緑の森博物館の利用ルール◆

- 緑の森博物館では、以下の7つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。
- 1) 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生き物をむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
  - 2) 他から持ち込んだ動植物(外来種)を放さないでください。
  - 3) 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
  - 4) 犬などのペットを放さないでください。(フンの後始末もしっかりと行いましょう)
  - 5) 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
  - 6) バーベキューや花火など火を使わないでください。
  - 7) ゴミは持ち帰りましょう。



発行:さいたま緑の森博物館  
 発行年月:2012年10月  
 住所:〒358-0014 埼玉県入間市宮寺889-1  
 TEL/FAX: 04-2934-4396

開館時間 9:00~17:00 【入館無料】  
 休館日 月曜日、祝日の翌日(その日が祝日の場合をのぞく)  
 【公式HP】http://saitama-midorinomori.jp/  
 指定管理者 株式会社自然教育研究センター



暗やみの中にぼんやりと見える影・・・。  
 何者かが、草を踏みしめる音がカサカサッと聞こえてきます。仕事帰りに湿生園を歩くタヌキに会い、福ちゃんが動でシャッターを切った一枚です。みどり森を代表するほにゅう類です。

今年は、長く厳しい残暑が続きました。これから、みどり森は、秋から冬へと移り変わる美しい季節を迎えます。  
 今号の中面特集記事は、みどり森に生息している「ほにゅう類」について、日頃スタッフが出会ったり、来館者の方からの情報をもとに代表的な種類をご紹介します。  
 私たちスタッフでも、なかなか出会う機会が少ない生き物ですが運よく出会えるとうれしいですね。もしも出会った方は、案内所までぜひ教えてくださいね。  
 哺乳類好きのスタッフ  
 まちゃごろう より

みどり森のおすすめスポット (10月~12月)

10月から12月にかけて、みどり森は秋が深まっていきます。秋といえば紅葉ですが、この辺りには赤く色変わりする種類の樹木が少ないため、コナラやクヌギなどドングリのなる木が黄色に色変わります。みどり森の各スポットでのおすすめをご紹介します！  
 ★自然すべてが展示物である「みどり森」では動植物の採取は禁止です。きれいな花は次の人のために採らずに楽しんでください。ドングリも森の生き物のために残しておいてくださいね！

**雑木林広場**  
 10月中旬頃にヤクシソウの花が見られます。雑木林の林縁ではゴンズイの実やヒヨドリジョウゴの赤い実が見られます。  
 11月下旬ごろには雑木林が黄金色に色づきます。

**西久保湿地**  
 10月上旬は、ツリフネソウが残り花を咲かせています。熟した実にはさわるとパチンとはじけて面白いですよ。他にもミソソバやアキノウナギツカミがかわいらしいピンク色の花を咲かせてくれます。  
 田んぼの周りの樹上では、モズが鳴いている姿をよく見かけます。

**案内所周辺**  
 ガマズミの実が赤く色づき、12月になるとテイカカズラの綿毛をまとった種が飛んでいるときもあります。

**水鳥の池**  
 11月下旬頃から、大谷戸湿地方向の雑木林の紅葉を一望することができます。

**大谷戸湿地**  
 10月上旬にはツリフネソウの開花ピークが過ぎ、ミソソバのピンク色が目立ちます。  
 11月下旬頃から湿地入口のイロハモミジが色づき始めます。

